

名大の時間

名寄での4カ月を振り返って

学に入学するため、名寄市に引っ越してきました。親元を離れて一人で生活をする、新たな仲間とともに4年間を過ごすことへの期待と不安を胸に入學式に臨んだことを覚えていきます。

馴染みのない土地の中で、自分1人でやっていけるのかという心配がありました。振り返って今は、なぜあの頃心配していたのだろうと感じ

るくらい、仲間・先生・先輩方に恵まれて生活できていると感じています。

また、その仲間たちとともに充実した生活を過ごすことができています。特にいままでで印象に残っていることは、宿泊オリエンテーションと大学祭です。宿泊オリエンテーションでは、先輩方の企画によって、それまで話したことがなかった人、少しし

校祭はコロナウイルスが5類感染症移行後に行われ、夏の始まりにふさわしい最高のイベントとなりました。私は、模擬店販売・準備

・後片付け、軽音サークルのバンド発表に参加しました。多くの先輩方、仲間

が話したことのなかった人との距離をすぐに縮めることができました。晩ご飯を一緒に食べたり、みんなでレクレーションを楽しんだり、夜はみんなで集まって話をしたりして、多くの友達ができたと思います。先生方も歓迎をしてくれたため、社会保育学科の一員になれたということを中心に喜ぶことができました。7月に行われた学

校祭はコロナウイルスが5類感染症移行後に行われ、夏の始まりにふさわしい最高のイベントとなりました。私は、模

擬店販売・準備・後片付け、軽音サークルのバンド発表に参加しました。多くの先輩方、仲間

が話したことのなかった人との距離をすぐに縮めることができました。晩ご飯を一緒に食べたり、みんなでレクレーションを楽しんだり、夜はみんなで集まって話をしたりして、多くの友達ができたと思います。先生方も歓迎をしてくれたため、社会保育学科の一員になれたということを中心に喜ぶことができました。7月に行われた学



ます。名寄市立大学のつながりの強さを実感できた4日間でした。

名寄市立大学の学生の多くが名寄に住んでいるため、友人同士のつながりも非

常に強いのだと思います。友人と深い話をたくさんし、のびのびと楽しむ生活は最高に楽しいです。まだ見たことのない名寄の雪景色などの

さまざまな景色を楽しみにしながら、これからも学業に取り組み、名寄での生活を存分に満喫したいと思います。

社会保育学科1年
上田 侑